

## 第三部 官庁訪問体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半では、春季と夏季の官庁訪問参加者に分かれて座談会を行っていますので、訪問前のイメージトレーニングに是非お役立てください。

なお、掲載している情報はあくまで令和元年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から語られたものであり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。

### － 環境省の官庁訪問（総合職試験）の簡単な流れ －

令和元年度官庁訪問は春季と夏季の2度実施されました。春季は理工系区分の既合格者を対象として6月上旬に全3クールで実施されました。夏季は令和元年度を含めた総合職試験最終合格者を対象として、6月下旬～7月上旬に全5クールに分けて実施されました。どちらの期間でも1クールにつき1回まで同じ省庁を訪問できるというルールは変わりませんが、春季は全クール通して約1週間、夏季は約2週間と期間が異なっていました。また、令和元年度の夏季官庁訪問は試験の最終合格発表日の翌日から第1クールがスタートという少々あわただしいスケジュールとなりました。

最新の詳しいルールは人事院 Web サイトで紹介されるので、事前にしっかり確認しておきましょう。

#### ① 官庁訪問前

国家公務員試験合格後、環境省 Web サイトから官庁訪問申込票をダウンロードし、記入します。

（春季では事前にメールで訪問する旨を伝える必要がありました。）

#### ② 官庁訪問初日

申込票を持参して環境省へ。初日からしっかり面接を行うので、気持ちの準備をしていきましょう。

#### ③ 官庁訪問期間中

面接を1日に数回行います。面接だけでなくグループディスカッションが行われる場合もあります。

日によって形式は異なるので、臨機応変に対応しましょう。

#### ④ 官庁訪問最終日（最終クール）

内々定！

### － 環境省の官庁訪問（総合職試験）の面接 －

面接回数は人によって異なりますが複数回行われます。面接では官庁訪問申込票を元に質問をされたり、自己PRを求められたりします。加えて、説明会では聞けないような具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。

時間は1回30分から1時間程度です。面接に呼ばれるまで時間がかかりますので、その間は控え室で他の訪問者や職員の方と話したり、ノートや申込票を見返したりして面接に備えましょう。

また、官庁訪問終了時刻は官庁によって異なりますが、環境省は比較的早い時間に解放してもらえます。

### － 環境省の官庁訪問（総合職試験）の服装 －

官庁訪問はクールビズ期間中に実施されることが多く、軽装が推奨されています。そのため、訪問者も半袖シャツを着たり、ネクタイを外したりした状態で面接を受けることが可能です。もちろん冷房が苦手であればジャケットを羽織っても大丈夫です。



それでは次ページからはお待ちかねの座談会です！

令和元年度の内定者は春季での官庁訪問参加者が5人、夏季参加者が5人でしたので、それぞれ春組、夏組として座談会を実施しました。かなりフランクな文体になっておりますがどうかご容赦ください。

## － 春季官庁訪問参加者による座談会 －

### 【官庁訪問のために準備したことは？】

とててた：官庁訪問申込票(いわゆる ES みたいなもの)を書いたぐらいだな、俺は。

面接とかは民間で練習済みだったし。

身の丈 177 釐(以下、身の丈)：官庁訪問申込票は、具体的にどんなところに気を付けて書いた？

食洗機：わかりやすい日本語で書こうと心がけたかな。

アロマ：強いて言えば、官僚としてどうしたいかは書きぶりに気を付けた。

とててた：そのまま素直に書きました。

食洗機：その通りで、緊張する人は素直に書いた方がいいとアドバイスしたいね。

緊張するとごまかしがなかなか効かなくなるし。

アロマ：これを基に面接するからね、思っても無いこと書くと喋れないよね。

食洗機：そう、実際に喋れることこそが大事。

アロマ：喋れることとか中心に、自分の意見を自分の言葉で書けばいいのでは。

食洗機：そうだね。

身の丈：ほとんど必ず、自己紹介なり、志望動機のこと聞かれるから、

どんなこと質問されるか、やりとりを予測しながら推敲するのもいいかな？

アロマ：話題を膨らませやすそうなやつがいいよね。トーク番組のおハガキが印象としては近い。

身の丈：説明会行ったとかも該当する？

アロマ：するする。

アロマ：東京の説明会にはほとんど行けなかったけど、宮城から遠いので。

食洗機：説明会は2、3月頃から月1くらいで行ってたかな。

身の丈：説明会は回数覚えてないけど、かなり行った。

とててた：行ってないなあ。

6年生：私は1次合格者向けの全省庁合同説明会が、5月に大学(@京都)であったから、それには行ったりしてたけど、東京まで来て、というのはしてないな、、、

アロマ：網羅的に説明してくれるから1回で雰囲気掴めるしね。

食洗機：地方だと大変だよな。

6年生：わかる。

食洗機：まあ、環境省だけ聞きに行くっていうよりも、いろいろな省庁聞きに行った。

6年生：環境省だけに絞ってたわけじゃないから、他の省庁も聞きに行った。

アロマ：省庁によってやっぱ雰囲気違ったわ。

身の丈：民間とか他省庁の説明会に集まる学生と比べてどうだった？

アロマ：合同の説明会では、学生は全然質問してなかったね。

食洗機：俺が参加したやつも30~40人くらい居たのに誰も質問してなかったな。

身の丈：本省でやるJOBトークでは結構質問してた。こういう業務やってます、って説明会だから、質問しやすいのかな。

とててた：みんなの理解が進む分、質問しやすいんだろうね。

- 食洗機 : 某省は専門性をガンガン押してくる学生が多かったな。
- 身の丈 : そういう意味では環境省はいろんなことやってる学生いるよね。
- 6年生 : 確かにそんなに専門性を求めてくる感じではない。
- アロマ : 政策と研究がばっちりかみ合う人って、そうはいないよね。
- 身の丈 : いなくていいと思うけどなー。研究はたかだか3、4年だけど、仕事は何十年と続くわけだし。
- とててた : コロコロ部署変わるしな。
- 6年生 : そんな感じの事を原課面接で言われた。
- 身の丈 : 他の省庁も含めて、特に政策シミュレーションは、楽しかったな。
- アロマ : 政策シミュレーションってどんなの？
- 身の丈 : 環境省のだと、ちょっと座学したあと、6人1組で日本、EU、アメリカ、途上国(中国)、島嶼国などに分かれて、模擬 COP21 して、パリ協定の文言を協議したよ。
- アロマ : どこが主催してたの？
- 身の丈 : 環境省の主催だよ。12月、1月頃の説明会。
- 身の丈 : 環境省以外でも、気候変動の国際交渉をテーマにしたグループワークあったけど、環境省志望の学生とは出てくる意見違って興味深かった。
- アロマ : 全然知らなかった。
- 6年生 : そんなのあるんだ。。。
- アロマ : 省庁合同のやつ以外だと JOB トークしか行かなかったわ。地域循環共生圏のやつ。
- 身の丈 : その時の説明会担当してくれた人は官庁訪問のとき、覚えていてくれた。
- とててた : 意外と覚えてくれてるっぽい。
- 食洗機 : たしかに。
- とててた : 面接の時、説明会一度も来てないよねって言われたし(笑)
- 食洗機 : まあ、説明会に行っても受かったっていうことは、そこで選んでない証拠でしょ。
- 6年生 : いいこと言う(笑)
- 正直、環境省の説明会よりも他省庁の説明会というか OG 訪問の方がしてた。
- アロマ : 説明会以外の情報源は？
- とててた : OBOG が研究室に来てくれた機会に環境省に入省した人の説明を聞いたのと、あとは他の友達が行った時の資料貰った。
- 6年生 : 官庁訪問中、環境省の HP 見たことある？とは聞かれた。
- アロマ : 聞かれるの？
- とててた : 聞かれてないな。
- アロマ : 環境省の HP で見たのは白書ぐらい。
- 6年生 : 私は逆に環境省の HP で農業科学水産区分も採用するっていうのを見なかったら、環境省には来なかった。それを見たのが5月入ってからだったから。
- アロマ : あーでも、マイページみたいなの登録したわ。インターン行ったら、その後リクルーターの人が「説明会ありますよー」って送ってきてくれた省庁もあった。あと環境省の HP では、どういう部局がありますよ、みたいなのは見た。
- 身の丈 : 今これやっていますよ、みたいなのも？

とてた：えっ、そんなのあるの？

俺みたいなやつのために「ここ見たらいいですよ」みたいな作るべきだよ。

身の丈：年度ごとの重点政策見れば、予算で何やってるのが事業ごとに PDF 一枚で見られるよ。

アロマ：もうそれだけ見ればいいんじゃないの。

6年生：白書は概要版あるから、それ読んで気になったところを白書で調べてみるといいかも。

身の丈：あと環境省の HP ではないけど、参議院調査局が「立法と調査」を毎月出してる。

それは行政を立法の立場からレビューしてる。

アロマ：いろんな視点の資料見たいよね。

6年生：みんなは OBOG、職員訪問的なのはしてない？

食洗機：してないなー。

身の丈：インターンも、OBOG もしてない。

とてた：OBOG 訪問は内々定もらってからやった。インターンもしてない。

アロマ：インターンの業務時間内に何人かの職員の方に話聞きに行かせてくれた。

アロマ：けど、つてがあるなら OBOG にこだわらなくてもいいんじゃないかな。

食洗機：OBOG でなくていいなら、職員訪問でよくない？

6年生：確かにね。親近感わきやすい、とか官庁訪問の時どうしてたかとかは聞けると思うけど。

食洗機：住んでる場所が近いかならわかるけど、そんなこともないしね。

6年生：特に地方組は、だけどね。

身の丈：あと新聞読んだかな。

アロマ：新聞わかる。

### 【当日持って行ったものは？】

アロマ：指定されてるものが少なすぎて、当日何持ってくか迷った。

とてた：面接カードのコピーと今までの民間で使った ES。

あと空き時間があったときのために実験結果をまとめる PC。

食洗機：俺は筆箱、ノート、パソコン、モバイルバッテリー。

とてた：待ち時間が長いから暇をつぶせるものがある。

アロマ：たしかに。

6年生：私も PC 持ってってたわ～。

身の丈：メモ取りながら原課訪問とか面接できるから、メモ持ってくといいよね。

あと個人的なやつだけど、活字を目で追っていると落ち着くから新聞と本持ってきてた。

とてた：そういえばアロマ、環境白書持ってきてたよね。

アロマ：お守りとして持ってきてた。

白書、読みこんだら自信はついたけど必要だったかはわからない。

6年生：環境白書は紙だと重いから PDF ダウンロードして PC に入れてたわ。

とてた：なんなら待合室に環境白書置いてあったよね。

アロマ：それな。

6年生：いろいろ置いてあったよね、ほかのパンフとかも。

身の丈 : 服装でいうと、みんなクールビズだったね。

アロマ : 袖まくりは一応しなかったんだっけ。

身の丈 : 長袖の腕まくりはNGじゃないかな。半袖はよいが。

食洗機 : 面接中は良くないと思うけど、待合室では大丈夫じゃない？

とててた : あんまり気にしてないような気もするけどね。

アロマ : そもそもここでクールビズNGだったら、どこでOKなんだって話だしね。

身の丈 : 働いてもそんな感じよ。

職員の皆さん、TPOに応じて服装を調節している。(編集注:身の丈は10月入省です)

とててた : まじか(笑)

### 【官庁訪問全体の雰囲気は？】

身の丈 : どの省庁での面接もなんか楽しくお話ししてたら、終わったな。

アロマ : 環境省は面接っぽくなかったな。1クール目は。

食洗機 : 1クール目はたくさん訪問者いたしね、2日目も。

とててた : 環境省はとにかく待った、他の人とお喋りできたからよかったけど。

〇〇省の面接は1日で10回以上。単独行動が多かったかな。

とててた : 面接はオーソドックスだったな。どこも、何回目も。

6年生 : 1クール目も2クール目も、

自分も聞かれたことに答えるけどお話いろいろ聞く方がメインだった。

とててた : 内容はあんまり覚えてないな。

食洗機 : 人によって違うのかね？(1クール目は)何かテーマ与えられて話すことが多かった気がする。

身の丈 : 思い出するために、詳しく聞きたい。

食洗機 : 例えば除染の問題について、どこに視点を置いて取り組んでいきたいか(国全体?市民?)、実際にどう進めていくか?みたいな感じで、試されていた感がある。

アロマ : Aさんにはひたすら漫画の話が聞かれた。

食洗機 : 漫画?どういうこと?

アロマ : 漫研に所属してましたって言ったら

「どんな漫画描くの?」とか「漫画ってどう描くの?」みたいな。

Aさんは恐らく自分の好きなことをどれだけ話せるかパート。

身の丈 : 自分は地方自治体の持続可能性の話から、

いつの間にか外国人労働者の受け入れ拡大の話をしてた。

6年生 : 私はAさんと環境アセスの話したかな、自分が興味あるって言ったからだけ。

アロマ : 初日で最低限の環境関連の情報を教えて、それ以降の日は環境を題材にどれだけひるまずに自分の意見を言えるか、みたいな雰囲気だった。

身の丈 : Aさんの意図も、これに近いのかもね。

環境に限らず、何に関心があって、どんな意見持ってるか、みたいな。

6年生 : そうかもね。

最後のクールの最後の面接でもそんな感じの趣旨で、最近見たニュースとか聞かれた記憶。

- 食洗機 : ニュースは局長(当時)さんのときかな。
- 身の丈 : 局長さん、そうだったね。環境以外に関心のあるニュースって質問あったわ。
- 食洗機 : そう、環境以外のニュースだった。
- アロマ : 「憤り？」
- 6年生 : それは内定式当日だけど(笑)
- 身の丈 : ?
- アロマ : そうだ、身の丈居なかったんだ。
- アロマ : 内定式当日、一部の人たちに「最近のニュースで環境から最も遠くて憤りを感じたのは？」みたいな質問がされた。
- 身の丈 : それBさん？
- 食洗機 : いえす。
- 身の丈 : やりそう。
- 6年生 : 話が逸れてきたので、、、全体の印象としてまとめるとみなさんどんな感じですかね。
- アロマ : とにかく喋れるか、それに尽きる感じがあった。
- 食洗機 : 知識というより、どう考えるかを問われていた気がする。
- とててた : そんな感じ、自分考えをきちんと話せるか。
- アロマ : 環境知識に関しては、過去の内定者の声ではこども環境白書を勧められたみたいに言っていたので、きっとそんな程度。
- 身の丈 : わかる。何聞かれるかわかんないから、環境に限らず関心分野は広く持つとくことと、ニュース見ても、自分はどう考えるかって視点大事だなと。
- 6年生 : たしかに。知識があるかないかを試されるのではなくて、話していく中で自分の考えを構築して話せるか、って感じ。あと人の話をちゃんと聞けるかも大事な気がする。
- アロマ : それ。一方的に喋るだけだと印象悪そう。
- とててた : 会話できますか？って感じか(笑)
- 6年生 : まとめるとそうなるね(笑)

#### 【印象に残っているやり取り・苦勞した点】

- アロマ : 意外と奇抜な質問してくる。
- 身の丈 : やりとりは、Aさんの無茶振り。苦勞か…環境省については特にないな。
- 食洗機 : (印象に残ったやりとりは)環境基本法について教えてもらったことかな。
- とててた : 思い浮かばないな。
- 食洗機 : それはそれすごいな(笑)
- 環境省の人が何を念頭に取り組んでいるのが少し見えた気がした。
- アロマ : 職員に共通する理念みたいなものがあるのかな。

#### 【官庁訪問の中で、自分の何が評価されたとか、自分の何が大切だと感じましたか？】

- 6年生 : さっきわりと出てましたが。プラスで何かあれば。
- とててた : 笑顔で喋り上手なところでしょ。

- アロマ : 普通に議論できるかってとこだと思うよ、やっぱり。  
あと、確認されたのは辛くても続けられるかどうかとか、  
上司と意見が反発したらどうするかとか。
- 食洗機 : そんなこと聞かれた??
- 6年生 : 聞かれたー。
- とててた : 大丈夫だなんて思われたんじゃないの。
- 身の丈 : 全然緊張してないよねーってよく言われた。面接場所への移動中とかに。  
それが結局ストレス耐性ってことなんだろうね。
- 食洗機 : 俺、最後に1時間くらい面接して、その人との面接が一番つめられたけどうまく躲せたかな。
- アロマ : 躲し力大事よね。
- 食洗機 : 俺が一番つらかったのは、「環境基本法」知ってますかって聞かれて、知りませんって答えて、  
じゃあ何を第一に掲げていると思いますか、みたいにきかれて、  
間違いながらも何か言って、なんか言われるからそれに対してまた答えるみたいな。  
そこでうまくかわして行けたことがよかった。
- 食洗機 : 終わり方もなんか、多分あの人は喋り足りなかったんだろうけど、  
職員さんが呼びに来て終わるっていう。
- 身の丈 : でも1時間話したってことは、それだけ向き合うべき学生と思われたわけじゃん。
- 6年生 : まだ話したりなかったってことは、まだ全然話せるって思ってくれたんだろうし。
- 食洗機 : 俺はもう選考落ちたなって思いながら喋ってたけど。
- とててた : それ聞いてもやっぱ会話じゃない?聞かれたことにちゃんと答えて、一方的に喋ったり  
しないで、ちゃんとコミュニケーション取れることが評価されたんだと思う。
- 身の丈 : あと簡単にへこたれないとか。諦めて黙っちゃうことってやっぱだめだよ。
- アロマ : よく分かんなくてもとりあえず何か喋って、喋りながらおかしいとこ修正していくのが  
大事って言われた。あと、わかんなかったらわかんないって言って大丈夫だから。

**【空き時間はどのように過ごしていましたか?】**

- アロマ : 待合室で他の人と会話するか白書読んでた。
- 食洗機 : 俺も、長い待ち時間だんまりはつらいし、周りの人と話して情報収集してた。
- 身の丈 : 2クール目でメンバー固定されてきてからはよく喋ったよね。
- とててた : だね、会話 or 持ってきた暇つぶし or 散歩。
- 食洗機 : ただ、2クール目はそこまで待ち時間ない上に、待合室にもほぼ一人だったからずーっとメモ  
して心を落ち着けてた。職員の人と話した気もするけど。
- アロマ : 1クール目の1日目に来るとだいたいメンバー固定されるので、2クール目も会話がはずむと  
いうメリットあるな。
- とててた : 身の丈さんは持ってきた新聞読んでたね。
- アロマ : 新聞かりて読ませてもらったけどありがたかった。
- 6年生 : さっき持ち物でメモの話が出てたけど、私はその場でメモすると話がちゃんと聞けない気が  
したから待合室に戻ってきてから空き時間に整理してたかな。

食洗機 : 同じく。

アロマ : 必死で覚えて後で書き出してたわ。

身の丈 : 待機部屋にパンフレットも置いてあったけど、お菓子も用意してくれてたし、  
薄ら音楽流れてなかった？

とててた : そうそうお茶とお菓子あった。音楽も！

食洗機 : 面接で喉めっちゃ乾いたから助かったわ。

6年生 : お茶とかお昼ごはんも一応持って来てたけど、そういうの置いてあるし、  
お昼休憩ちゃんとあったから、持ってなくてもよかった感あった。

身の丈 : みんな一緒に26階に中華食べに行ったよね。

アロマ : 全体的に、テストみたいにガツガツ何かしてたみたいな感じではなかったね。

### 【官庁訪問受けて、環境省へのイメージ変わりました？】

食洗機 : 思っていた以上に環境以外のことに目を向けていた。

アロマ : 例えば？

食洗機 : STOP 温暖化！！一辺倒じゃなくて、温暖化+アルファで（安定供給など）真剣に考えてた  
ところがイメージ変わったところで魅かれたところ。もっと環境にすべての主眼を置いてる  
イメージだったけど、わりと産業界とも協力して、環境よくしつつ産業もよくするみたいな  
方向性でやってるってのが官庁訪問でわかった。

とててた : 俺は思った通りでイメージの変化はなかったな。

訪問前はマイペースな人が多いようなイメージで、官庁訪問で話聞いたり、  
実際に見てみてやっぱそうなんだってなった。

身の丈 : 環境ばかりに目を向けてても、社会変わらないって危機感に似たものを感じた。  
ライフスタイルを変革するためにどんな政策を打つべきかとかを聞いて、  
環境省の本気感を肌で感じられた。

アロマ : 職員の話ではないけど、訪問者は喋れるひが多かった。説明会とかだとあんまその辺  
見えなかったし。でも大体のイメージは説明会で掴めるというのはあるかもしれないね。

6年生 : 私が接する機会の多い農林水産分野だと、農水省が農業水産業をやってる人を守って  
ところがメインなのに対して、環境省は同じ問題に取り組みつつも環境自体をもっと大事に  
しようとしてるのかなってところは官庁訪問で感じた。  
それで、自分がやるなら環境省の立場でやっていきたいなって思ったから環境省を選んだ  
ところはある。

アロマ : 良くわかってないんだけど、環境行政やってる人たちって、環境を守りたいってとこに軸が  
あるのか、それとも人の生活を維持することを最初の目的としていて、そのためには環境を  
守ることが必要だから環境を守るのかっていう、どのへんに軸があるのかが官庁訪問前から  
わかってなくて、今もよくわかってない。

食洗機 : それは両方いると思う。どこに主眼を置くかってのは、自分の中でこれから大事にして  
いってほしいってことは原課面接で言われた。

アロマ : 多様でいいのね。

- 身の丈 : この5人でもバラバラじゃない?結局、環境を守りましょうって言ってついてきてくれる人なんて限られてるから、それ以外の人をどう巻き込むかにこれから頭使うなって思う。
- 6年生 : そうしようと思ったらやっぱり国の力って重要だよな。

### 【地方から来た人は交通、宿はどうしましたか?】

- 食洗機 : 実家が東京だから官庁訪問期間中はそこから通ってた。
- アロマ : 自分は6月4日に民間の最終面接あったから、それと並行して受けにきてた。
- 6年生 : 私は土日に別の予定があったから、金曜に夜行バスで東京に来て、赤坂見附駅のカプセルホテルに泊まってましたね。
- 食洗機 : カプセルどう?疲れない?
- 6年生 : 私はわりとどこでも寝れるから(笑)、特に疲れたりとかはなかったかな。マスクしたり加湿器借りたりして体調はすごく気を付けたけど。それよりアクセスいいところが一番と思って。混んでる電車移動もだし、東京自体も慣れてないので、、、
- 食洗機 : なるほど。近いほうが楽なのはわかる。
- アロマ : 地方勢には乗り換えが鬼すぎた。下見必須。
- 身の丈 : 宿泊費、交通費合わせて旅費はいくらぐらい?
- アロマ : 仙台は新幹線で往復二万円、宿泊は実家なので0円。
- 6年生 : 京都は行き夜行、帰り新幹線で交通費が1万5千円で、宿泊費は土曜~木曜の5泊で2万円くらい。ほかの滞在費含めると全部で4万~5万かな。
- アロマ : カプセルホテルめっちゃ安いな??!?
- 6年生 : でも人事院が安く泊まれるホテルを紹介してくれる制度もあるみたいよ。人事院のホームページに載ってた。
- アロマ : まあ夏訪問だとそこまで安くもいかないのだから春受けましょうって話だな。
- 6年生 : ほんとに、春に受けれるなら地方組は春のがいいよね。

### 【最後に一言】

- 食洗機 : 職員さんも言ってたけど、官庁訪問はお見合いみたいなものっていうのはしっかり来た。自分を伝えるだけじゃなくて、環境省を知ることが大事だと思います。
- とててた : 官庁の人と話して、自分の考えや環境行政への理解が深まってきました。時間をたっぷり使って話せることこそ官庁訪問の良さだと思う。
- アロマ : 環境行政最前線の人たちとディスカッションを出来る官庁訪問は、かなり貴重な経験だと思います。楽しむためにも、平日頃から自分の意見を表現する訓練を!
- 身の丈 : 彼を知り己を知れば百戦殆うからず。環境省について知ることと同様に、自分自身について知ることもまた重要だと思う。
- 6年生 : 私は官庁訪問がなければ環境省には来てませんでした(ほんとに)。参考になる話をきける非常によい機会なので、ぜひ楽しんでください!

## ー 夏季官庁訪問参加者による座談会 ー

### 【官庁訪問のために準備したことは？】

マスター：僕は志望理由を中心に、環境省でやりたいことをしっかり話せるように準備しました！

赤ヘル：自分は面接カードを読み直して、どこについて質問されるかを予測して  
(質問してもらう部分を用意して)、それに対する答えを用意しました！

また、直前1ヶ月くらいの新聞を読むことで、  
最近話題になっている時事問題を押さえると同時に、自分の意見を用意しました。

てら：志望動機や学生のときがんばったことなど、基本的な質問に答えられるようにしたこと。  
自分の興味ある政策については発表されてる資料を読んだりしました。

モンガー：訪問カードの作成と、普段考えてることを適切な言葉で話せるように整理しました。  
パンフレットと内定者の声は読み込みました。

くーちゃん☆(以下、くー)：自分とはとにかく過去のインターンやOBOG訪問の時にいただいたアドバイ  
スを整理して、自己分析をしていく中で環境省との繋がりがどこにあるか考えました！

マスター：民間就職を併願してたから、  
あんまり研究内容とか学生時代に力を入れたこと(以下ガクチカ)などは官庁訪問前  
に準備しなかったな。

モンガー：もうこの時点で環境省に就職する意思固まってました？

くー：自分はめっちゃくちゃ固めてました(笑)

てら：私も環境省だけ。

マスター：官庁訪問の時点では、まだ悩んでたな。

赤ヘル：自分は国交省と悩んでいた。なんなら当時は第一志望だった(笑)

マスター：僕はちょっと特殊で警察庁の科学警察研究所と悩んでた。

モンガー：志望動機を書いてたら、自分の中で盛り上がってきて他の省庁行けないなあってなりました！  
気象庁とは悩んでましたけど。

マスター：僕は徐々に官庁訪問通して志望度が上がっていった感じかな。

赤ヘル：自分もそうかな。第二クールで志望度が逆転した。

てら：何が決め手だったんですか？他の省庁と比べて。

赤ヘル：質問する時間があつたときに、環境に関する問題の方が意欲的に質問できてるって感じた  
からかな。それは官庁訪問に行ってから気づいたんだよね～実は。

モンガー：逆質問は反射的に自分の考えてることでのよね笑

マスター：官庁訪問は気づきの場でもあるよね。

モンガー：じゃあなんだかんだ第二志望？なのは赤ヘルだけなのかな。

くー：モンガーの気象庁は違うんけ？

モンガー：環境省の訪問カード書いてて、  
こんなに本気のラブレターかいて別の省庁に2枚目描けないって思った！笑

マスター：一途だったんだね笑

てら：二股はできません!!!

赤ヘル : なんか立場ないわ (笑)  
くー : 興味が広がってことよ。  
マスター : 選択肢を多く持つとくことはいいことだとは思うけど (笑)  
てら : わたしは民間と悩んでるって素直にいった！二股できませんとかいっときながら…。  
赤ヘル : ズルい (笑)  
マスター、くー : 笑笑笑

### 【当日持って行ったものは？】

マスター : 僕はパンフレットくらいかなー。  
モンガー : 環境省採用パンフレットとノート、ペンかなあ。  
赤ヘル : 面接カード (下書きと修正版) と自己分析ノート。  
てら : お菓子と環境省関連の資料。あと1番役に立ったのは民間就活で聞かれたことまとめたメモ。  
モンガー : 民間就活で聞かれることと似てたの??  
てら : 似てたというより、こんなこと聞かれるんだとか、たしかにここ盲点だったみたいな質問が経験としてあったからそれは参考になったとおもう！  
マスター : ガクチカと研究については民間就職と聞かれることは似てた気がするな。  
くー : 民間と公務員、両立大変じゃなかったですか？  
マスター : 時期がずれてたから思ってたよりは大変じゃなかったかな。  
くー : クールが変わるごとにこれ必要になったなあとかってあります？自分も自己分析メモ持っていったんですけど、官庁訪問するたびに項目が増えてって差し替えてました。  
モンガー : 第1クールで差し替えられるか聞いた上で、  
2クール目で面接カード書き換えたの持ってった！  
マスター : 疲れることがわかったから、僕も途中からお菓子持ってくようになったかも！笑  
くー : モンガーの差し替え覚えてる！俺あれみてめっちゃビビった笑 すごい意識高いやんみたいな！

### 【官庁訪問全体の雰囲気は？】

赤ヘル : 自分は都庁の面接しか受けなかったから、本番の最初はガチガチだった。  
くー : 自分もめっちゃ緊張しました！  
モンガー : 民間受けてなかったからはじめて面接だったけど、  
なんか距離が近いというかラフだからか大丈夫だったかも！  
てら : モンガーは大丈夫そう笑 わたしも民間受けてなかったらすごいてんばってそう。  
モンガー : 目の前にテーブルあるのよくない？笑  
赤ヘル : すごくわかる。  
マスター : たしかにあんまり面接っていう感じはしなかったかもな、お話をするような感覚だった。  
赤ヘル : 面談みたいな感じよね。  
てら : 民間と悩んでたけど、職員さんも本人にとって1番いい選択をしてほしいっていう気持ちで話してくれるから、思ってること正直に言って、相談ばい話も結構させてもらってた。

くー : 話すの楽しかった。  
モンガー : くーは見てて楽しそうな伝わった笑  
くー : けどやっぱ緊張はしましたよー。待合室でていく時はマジで心拍数上がったた。  
モンガー : 呼ばれる時がピーク笑  
マスター : 面接中はある程度緊張しなかったけど、  
          いつ呼ばれるかわからなくて待ってるときは緊張してたなー。  
赤ヘル : 待ち時間長くなるとちょっと焦った笑  
モンガー : 同じ面接官に先に呼ばれた人に話聞けると少し安心した笑  
くー : 確かに！

**【空き時間はどのように過ごしていましたか？】**

マスター : 情報共有はしてたね (笑)  
てら : だんだん職員さんの名前覚えたよね笑 うわ、あのひとか！みたいな。  
マスター : 面接の内容を振り返って一人で黙々と反省してた。  
          あとは他の学生と話してるが多かったかな。  
赤ヘル : 自分も周りの人と談笑して情報仕入れてたかな。  
モンガー : ノートに聞かれた内容書いて、望ましい回答を作ってた。  
くー : 第1クールは結構ノート見返したり、質問整理してたけど、  
          第2第3はかなりみんなと話した思い出があります。  
てら : 空き時間はさっききかれたことばーっとメモして答えられなかった質問は考えた。  
          あとはぼーっとしたり話したり。  
モンガー : 最初から最後まで結構ワイワイかなあ。  
マスター : だんだんと面接が進むにつれて余裕ができてきた感じはしたな。  
くー : ラフになっていく感じ (笑)  
赤ヘル : だんだん面接カードのセリフ覚えていくのもあるあるだよな。  
くー : 初日が二次試験の合格発表の次の日はきつかった。  
モンガー : 合格喜ぶ間も無く、、  
赤ヘル : 席次も知らずに東京に来た…。  
マスター : 可能であれば1日目に行ったほうがいい気がするけど無理はしなくてもいいかもね。  
モンガー : うんうん、たぶんフィーリングが合えば3日目でも平気かも。  
てら : 私は3日目からです (笑)  
モンガー : 地方だからみたいなのもありそう笑  
てら : 環境省だけしか受けてないから志望度高いのは伝わったし、そう地方なのもある。  
マスター : たしかに、首都圏なら1日目に行ったほうがいい気がする…。  
くー : 2日目にいくと、なぜ昨日来なかったのか聞かれた笑  
赤ヘル : あ、俺も。正直に併願してるって答えた。  
くー : 「ち、地方なんで……」って答えました (笑)

【印象に残っているやり取り・苦労した点】

- マスター：全体的に自分の思い描くビジョンを職員の方と一緒に考えられた印象があるかな。
- モンガー：福島の話で、環境省は前例のないような、大きな困難を抱えた仕事もやる、最後の砦って言われて心が決まった気がします～！
- くー：自分が環境省でどのように活躍したいかが実際の業務とずれてないなことを、確認できて嬉しかったのを覚えています。
- 赤ヘル：環境問題を考えるのも大事だけど、経済の発展と両立しなければならないって話は印象深かったな。
- くー：確かに経済の話は結構した。
- てら：体力的にも精神的にもしんどいことあるけど大丈夫？って何回かきかれた（笑）
- モンガー：私も体力ある？って聞かれた！笑 ないけどあるって言った。
- てら：笑笑
- モンガー：答えがないからこそ、職員さんに正解を教えてくださいというより、一緒に考えられるのがよかった！
- 赤ヘル：たしかに！環境教育をどうすればいいのかってテーマで、ずっと話してた！
- モンガー：環境教育は難しいよね、たぶん環境省だけじゃできないし。
- 赤ヘル：それを含めて環境省なら何ができるかって考えてたんだけど、結論は出なかった笑
- くー：他省庁との調整も大事だって話あったな！
- モンガー：あ、環境省だけじゃできないですよ。って言ったら、なんで？ここだけでできないなら他省庁とやればいいじゃん？って軽く言われた笑
- くー：それが難しいのでは？でも将来的にやりたいですね～。
- モンガー：環境省の未来はそこにある気がしますしね！
- マスター：聞かれて困ったことはあんまりなかったかな、とりあえず何か答えるのが大事だったと思う。
- モンガー：職員の方も言っていましたよね、何か考えてその場で話せばいいって！
- くー：あと印象に残っているのは、省エネなどの環境活動について、無駄なエネルギー削減など、使わなくていいところから削減していくべきではないかと思います、って言ったら「趣味のドライブは無駄に入るの？」って聞かれてフリーズした笑
- マスター：その質問は結構困るね笑
- てら：困ったこといわれて、その瞬時の反応とか、その後の対応をすごい見られてる気はした。
- モンガー：困る質問はわざとしましたよね笑
- くー：「最近のニュースの中で一番環境から遠くて、印象に残っているものは何ですか」
- てら：でた
- くー：これ何クール目でしたっけ。
- 赤ヘル：3クール目。
- くー：忘れもせぬ、ってやつか（笑）
- モンガー：みんな結構スポーツで凌いでた（笑）
- くー：そしたら内定面接で「最近のニュースの中で一番環境から遠く、かつ憤りを感じたものは

何ですか」に変わってました。

マスター：スポーツ使えない（笑）

くー：フリーズしました。

赤ヘル：泣いた

モンガー：それ訊かれたの二人だけね（笑）

てら：うるさかったからだよ。

赤ヘル：納得いかない。

くー：解せない。

てら：みんな共通してこの質問いちばん印象に残ってる。

モンガー：2クール目くらいで、最後に自分のことアピールしていいよって言われた！

たしか面接カードに載ってないことでとか言われた気がする。

くー：ここの官庁訪問って、あんまり各クールで難易度？変わらなかった気がする。

職員さんによって、研究についてとか、志望動機とか、話す内容変わるけど、第1クールからプラスチックの具体的な内容についてもディスカッションしたし。

マスター：たしかにクールごとに面接の内容自体はあんまり変わらなかったかも。

職員の方の職位は上がっていった気がするけど。

てら：けど、そんなに気構える必要はないよね。いままで準備してきたこととか、話をきいて思ったこととか、素直に話すのが重要だとおもう。

**【官庁訪問の中で、自分の何が評価されたとか、自分の何が大切だと感じましたか？】**

マスター：環境省でやりたいことを、しっかり熱意をもって話せた部分を評価してもらった気がするな。

モンガー：正直なところかな！

くー：間違いはない。

てら：どんな質問にも真摯に向き合って答える、話を聞く態度。

赤ヘル：質問する意欲！

くー：自分はインターンとか訪問とかで、かなり多くの職員さんのお話を聞いてきてたから、環境省の考え方を理解して、官庁訪問に臨めたところがあったかなあと。

モンガー：たしかに説明会は行ってよかったですね！意欲としてみられたかはわかりませんが。

赤ヘル：地方の人だと説明会に来た人だよ〜って顔覚えてもらえるのはある。

マスター：難しい質問にもとりあえず答えるのが大事だったと思うー、黙ったら負け。

くー：結構環境省は環境に興味ある人取られるイメージもあったけど、必ずしもそうじゃないことがわかったな。

赤ヘル：環境マニアみたいなひとは逆にいないよね。

齊藤：結構話しやすい人が内定者多いから、そういう人間性は評価されてるんじゃないかな。

モンガー：それはとても思う〜雰囲気柔らかい！

マスター：基本的なコミュニケーション能力は大事だよー。

くー：というか、結構自発的に動ける人、多い！

**【官庁訪問受けて、環境省へのイメージ変わりました？】**

くー : そもそも皆さんは環境省にどんなイメージ持ってましたか？

私のイメージとしては、日本で環境問題解決の先頭に立ってお仕事しているイメージ。最初はとにかく法律を作っていたり、規制かけたりするのだろうな、と思っていましたが、説明会やOBOG訪問するうちに、実際の業務でやっているのはそういうことだけれど、そのために多くの利害関係の調整や、人々への説明にもものすごく神経を使って、頭ごなしに決めつけるのではなく、企業や自治体と協力しながら一歩ずつ前に進めていく、というイメージを持つようになりました。

モンガー : 私も少し似ているかも！

一般的な環境省のイメージだと、経済や社会と乖離して、自然環境破壊が起こりうるフィールドで、規制をかける独りよがりな官庁と思われているかもしれないんだけど。実際のところは、行政や政治において、つつい短い時間軸で社会経済への影響や効果を考えてしまう場面が多い中、長い時間軸で、持続可能性を持たせるためのアドバイザーのような、調整役を担っている省庁であると思う。

省内の意識として、環境と社会・経済がセットになって考えられているというのは、未来が見えているというか、先進的なイメージにつながったかな！

てら : わたしも前のふたりとちょっと近いけど、

省庁自体が政策づくりのトップに位置して、環境関連のことをやってるのが環境省ってだけで、具体的な職務のイメージはついてなかったな。

でも話をきくうちに、上から命令したり指示したりするだけじゃなくて、現場をみたり住民に説得しに行ったり、いい意味で泥臭いこともやってるんだなって思った。

考えてみれば当たり前だけど、政策を作るのはデスクワークだけでは無理で、そういう地道な作業も必要で、人間味がある省庁だなと思った。

結局、わたしはイメージがあまりできてないまま官庁訪問に行ってしまったわけだけど、振り返ってみれば官庁訪問の中で学びが本当に多かった。

くー : 官庁訪問行って、環境省に対するイメージに変化とかありましたか？

マスター : うーん、僕は特に変わらなかったかなー。何回か説明会にも参加してたし。

モンガー : 同じく〜。

赤ヘル : 仕事の内容として思っている以上に周囲に影響力があり、責任も伴うことは感じたかな。

モンガー : 政策を考えるのが思ったより、地道で難しいことだとは感じたかも！

てら : そうですね、あと硬いひとばかりじゃなくていろんなひとがいるなーとおもった。

くー : 自分も結構イメージ通りだったかなー。

やっぱ説明会とか、訪問とか行っていると結構理解できてくるかなあ。

マスター : 官庁訪問前に説明会とかに参加するのは働くイメージを考える上で大事だと思う。

**【地方から来た人は交通、宿はどうしましたか？】**

モンガー : 自宅！！

くー : 新幹線+実家

マスター : 僕は千葉に住んでるので普通に実家から電車で来ました。

てら : 新幹線+実家

赤ヘル : 飛行機! 大学は地方だけど実家が関東だったので、  
毎日1時間半ちょっとかけて霞ヶ関まで通った。

マスター : 実家が首都圏にあるのは便利だね。

くー : てら仲間や。

モンガー : ここの人はみんな実家が関東だった気がする。

くー : 実家が関東にないと、1週間半くらいホテルとか泊まらないといけないから大変よね。

モンガー : 宿のことは春組に任せましょう (笑)

### 【最後に一言】

赤ヘル : 官庁訪問では本当にいろんな人と話すことになるので、自分がどういう人なのか掴む  
チャンスだと思います! また人としても成長できる機会なので、失敗とかを恐れずにトライ  
することが大事!

マスター : 内定までは長い道のりですが、将来なりたい自分を一番大事に考えて頑張ってください。

くー : 官庁訪問はディスカッションをする場所だってイメージです。職員さんと話したり、  
同じ受験者と話していく中で知らない知識や考え方を知ることができるし、  
環境についてそれぞれのバックグラウンドの人がいるので楽しんで受けてくださいー。  
楽しんでとか言いつつ結構キツイはキツかったですけどね笑

赤ヘル : 体力も精神も削られるよね

モンガー : 就活全般に言えることですが、嘘偽りなく、自分らしく、自分の言葉で話すといいと  
思います。自分を偽ると入ったあとで困る気がします笑 (体力はあとでどうにかしますが笑)

てら : 試験や面接など乗り越えることはたくさんありますが、終わった後の解放感はすごいです笑  
自分の中にある熱い気持ちをぶつけてください!

ー 付録：インターンシップ参加者による座談会（一般職内定者も交えて） ー

【インターンに参加しようと思った理由】

- アロマ : 行こうと思ったのは何か周りのみんなインターン行けらしかったから。  
とりあえず第一志望の環境省を……。
- 大悟 : 環境省のことを全く知らなかったからかな。
- アロマ : 逆に何も知らんのに何で環境省にしたん？
- 大悟 : 気候変動適応法に関するレポートを研究の一環で読む機会があって、気候とかは気象庁が  
まとめているのではないのと思ったところから環境省に興味を持ち始めた。
- くー : 気象庁は興味あったんですか？
- 大悟 : うん。元々気象庁に入りたくて院1年の時に国家公務員試験を受けたんだよね。  
気象学を大学で学んでいるから。あと、気象庁は何人か大学からも行ってて、  
どんな感じの業務を知っていたからかな。興味もあったし。
- くー : あーなるほど。そこから変わったみたいなの。
- 大悟 : そう。レポート読んで、環境省に興味をもって、  
でもなんもわからんからインターン行こうって。
- くー : なるほどですね〜。自分の場合はそもそも環境省は何をしているのか、  
あまり知らなかったので乗り込んでみようと（笑）内閣官房内閣人事局による From Japan と  
いう省庁横断ワークショップイベントで職員さんにインターンできるか聞いて取り次いでい  
ただきました。
- 大悟 : なんで環境省？
- くー : 自分は環境問題に興味持っているので、さしあたり環境といえば環境省！みたいなノリで（笑）
- アロマ : インターンの動機わりと色々ね。

【インターンした室と申し込み方法は？】

- 大悟 : 2人はどの室行ったの？
- アロマ : 閉鎖性海域対策室
- くー : リサイクル推進室でーす。
- 大悟 : 第一志望？
- くー : 悩みました。
- アロマ : そうね。第三志望まで書けたけど。
- くー : プラスチックと環境教育についていろいろ知りたかったのですが、  
最終的にホットなリサイクルにしました。
- 大悟 : わたしは第2志望の研究調査室/気候変動適応が通ったんだよね。
- くー : 第二って言うけど、ぴったり分野じゃないですか？
- 大悟 : そうなんだよね。でもちょっと研究でその分野をしているから、  
ほかの分野に行ってみたかったっていうのもある。
- アロマ : あれって志望順に部署にまわしてって、大丈夫なところが受けてくれんのかな。

大悟 : たぶんそうなんだと思う。

アロマ : 受けられるようにだいぶ頑張ってくれてるのね。

大悟 : そうらしいね。詳しく知らないんだけど、キャリアセンターと指導教員がかなりプッシュしてくれてたみたい。

### 【インターンの期間、時期は？どのように通った？】

くー : どのくらいの期間インターンされたんですか？

アロマ : 2週間。2週間以上で単位出るので。

大悟 : 私も単位が出るようにと2週間。

(編集注：平成30年度の環境省のインターンは、大学等の正規の教育課程に位置づけられたインターンシップ制度により推薦された者を対象としていました。アロマと大悟の大学では、期間が2週間以上の場合に正規教育課程として単位認定が行われていました。くーの大学・学部学科では期間に関係なく、レポートの提出が単位認定の条件でした。)

くー : 同じく2週間です。

大悟 : 二人は大学が関東から遠いけど、泊まったの？

くー : 実家横浜で一す。

アロマ : 実家埼玉。

大悟 : 結局実家か！私実家から通えたからよかった。

アロマ : 単位取得のために2週間インターンするには、実家が関東近郊にないと、通勤に苦勞するかな。

大悟 : うん、それは思う。実家とか、近くから通えるところがないと厳しいと思う。  
大学で申請すると、実習用の通学定期は買えるけどね。

アロマ : いろいろ制約厳しいな。

くー : 調整して1週間だけとかもOKしてくれそうな気もしますけど。

大悟 : そう思う。2週間もらってくれる部署も必要だし、どこも忙しいし。

HPだと期間は自由っぽいけどね。

アロマ : 1週間でも大学が正規教育課程にしてくれるならいいのでは。一年中受け付けてもいるね。

大悟 : そうそう。二人はいつ行った？

くー : 学部3年の8月で一す。

アロマ : 3年の8月最後～9月始め。2週間ってもう大型休暇しか無理でしょ。

大悟 : 私は院1年の2月末2週間。そうね、夏休みか春休み。

### 【インターンの内容、学んだこと】

くー : お二人はインターンでどんなことされました？

大悟 : 私は、主に

- ・エクセルでの分類
- ・会議の参加
- ・事業者向けのポンチ絵（制度や予算、法律の概念設計図）の作成

- アロマ : ポンチ絵描いたり、全国の COD（化学的酸素要求量）達成状況まとめたり。  
あと会議の設営とか会議の横に座ったりとか。大悟とほぼ同じやな。
- 大悟 : ほぼ気候変動適応室でお世話になったんだけど、少し研究調査室でもお世話になって、  
研究調査室が持っている人工衛星のデータの解析もした。
- くー : 会議は自分もちょっと見させていただきました。主にやらせていただいたことは、  
太陽光パネルのリサイクル効率化の提案と、プラ関係の会議出席とかですね。
- アロマ : 効率化の提案、ちゃんと業務っぽいな。
- くー : 穴だらけで全然うまくできなかったですが、  
そこで戴いたアドバイスはめっちゃためになりました！
- アロマ : ちゃんと成長につなげられる内容なのいいな。
- くー : ポンチ絵ってどんな感じで作るんですか？
- 大悟 : ポンチ絵はパワーポイントで作る感じ。
- アロマ : 大体のイメージ指定されるから、あとパワポとワードで。
- 大悟 : 私の場合は文章があって、それを説明するようなポンチ絵を作成したかな。
- くー : めっちゃぎゅうぎゅうに押し込むイメージですけど、苦労しましたか？
- アロマ : 情報量と見やすさの両立大切。
- 大悟 : 苦労したけど楽しかったよ。普段の研究紹介は図だけで口で説明だけけど。  
ポンチ絵は図と説明とで見ただけでわかりやすくすることを考えたかな。
- くー : そうですよ。
- どうしたら見やすくすべてを網羅できるかっていうのはめっちゃくちゃ大事ですよ。
- アロマ : 干潮帯の役割みたいなものまとめたけど、水深と生物相の関係とか、本筋とあんま関係ない  
とこまで正確さを求められた。  
やっぱ国民の前に出すものなので、隙を無くすことが一番大事なのかも。
- くー : 専門以外のところもカバーしていく力ですね。  
やっぱりインターンで学んだことってそういうところですか？
- 大悟 : そうそう！幅広く、入ってからたくさん勉強するんだなって思った。
- くー : わたしも幅広い視野に関してはインターンでぐっと広がった気がします。
- 大悟 : 専門以外も学べたし、1日のサイクルとかも入ってからのイメージがしやすかった。
- アロマ : 専門以外の大事さもまなべたし、あとは色んな人に話聞きに行かせてくれたのも勉強なった。
- くー : そう、いろんな職員さんにお話しうかがえたのもとてもいい経験でした。
- 大悟 : どんな人と話した？
- アロマ : とにかく色んな部署、色んな年齢層の人。あと OB が多かったな。
- くー : まずはインターンを担当してくださった、リサイクル推進室の皆さん、そしてほかにも循環  
局の皆さんや、他局の職員さん、自治体から出向してこられた職員さんともお話ししました！
- 大悟 : OB ね～大学の OB いると強いよね、羨ましい。希望して話聞きに行った？
- アロマ : うん、わりとうちの室長さんが融通聞かせてアレンジしてくれた。
- 大悟 : 希望しつつもセッティングしてもらってって感じかな。
- くー : 役所って堅いイメージですけど、こういうところでは意外と融通ききますよね。

【持っていた環境省のイメージにどう影響した？】

- くー : イメージはインターンでめっちゃ変わりました！
- 大悟 : インターンに行かなければ、官庁訪問もしなかっただろうし、  
気象庁と天秤にかけて将来について考えられたのもよかった。
- アロマ : 具体的な業務の雰囲気とか職場の雰囲気とか、何に気をつけて仕事してるのかのイメージが  
変わった。結局学生の想像力程度では、インターンで何に気づけるかなんてやってみないと  
わからないので、とりあえず申し込んでみよう。
- 大悟 : 職員の方はみなさんきさくで他愛のない話をできたこともよかった。  
明るい人が多いんだなって。アロマの言う通り、申し込んで行ってみるのがいいと思う。  
OBがいなくても、何とかなるよって私は伝えたい。
- くー : インターンまでは法律で規制することで、環境問題解決を進めているんだろうくらいの  
イメージでしたが、まずインターンでは職員さんがきさくで人当たりの言い方が多く、  
それでいてお仕事をするときの目は鋭いものがあると感じました。  
これが官僚か、と思ったのを覚えています。  
あと、企業に一方的に基準を押し付けるのではなく、一緒に問題解決をしていきたいと思います  
という姿勢が、会議で前面に出されていて、抱いていたイメージとのギャップを感じました。  
環境問題は複雑なので、行政としては無理やり進めるのではなく、一步一步調整して  
進める姿勢をとっていることもわかりました。  
公務員の仕事の半分は説明と調整だと、聞いたのを覚えています。  
あとは、因果関係にめちゃくちゃ気を配っているところも学びました。  
資料作りが一番詰められたので、ここの学びは大きかったです。
- 大悟 : まとめたね～。
- くー : 官庁訪問前に整理してたので（笑）  
やっぱりお二人同様職場の雰囲気知れたのは良かったと思っています。

## おわりに

以上が、総合職理工系内定者による「内定者の声」です。私たち内定者がどのように試験対策に取り組み、就職活動をし、どのような考えをもって、環境省を目指したのか、皆さんが環境省を将来の選択肢として考える際に少しでも役立てていただけたらと思っております。この「内定者の声」は次に環境省を目指す皆さんへ我々内定者からのバトンです。私たちとともに、環境問題の最前線に立って日本、そして世界の未来を作っていきませんか？

内定者一同、皆さんをお待ちしています！

2020年1月 環境省総合職理工系内定者一同